芙蓉書房出版　１２月【委託】新刊　配本部数指定のお願い

迫害された宗教的マイノリティの歴史

隠れユダヤ教徒と隠れキリシタン

九州ルーテル学院大学名誉教授
濱田信夫著　四六判ソフトカバー254頁　本体 2,400円　ISBN978-4-8295-0851-0

熊本・天草のキリシタン墓地

隠れユダヤ教徒「マラーノ」と日本の隠れキリシタン
東西二つの「隠れ」信徒集団の発生とその後の歴史をトレースし
固有性（異質性）と共通性（同質性）までを明らかにする

✺**隠れユダヤ教徒**は
キリスト教国家やカトリック教会の政治的・宗教的権力の迫害により、強制改宗、殉教・虐殺、海外への拡散という複雑かつ多様な人生を歩んだ

✺日本の**隠れキリシタン**は
武家統一政権に迫害され、殉教・潜伏、そして強制改宗下で仏教を信仰していると見せかけるため偽装棄教を余儀なくされた

序　章　なぜ、東西二つの「隠れ」信徒集団なのか
■第１部　**反ユダヤ主義と隠れユダヤ教徒**
—「マラーノ」の発生から四散に至る変容過程—
第１章　反ユダヤ主義の構図
第２章　隠れユダヤ教徒「マラーノ」の発生
第３章　異端審問の開設とユダヤ教徒追放令
第４章　自由の国を求めて —マラーノの拡散—
■第２部　**隠れキリシタンの系譜**
—「宣教時代」から「迫害・潜伏時代」への変容過程—
第５章　日本における宣教と禁教・潜伏
第６章　布教・発展から規制へ
第７章　徳川政権と反キリシタン政策
第８章　「隠れ」から「崩れ」へ
■第３部　**二つの「隠れ」信徒集団の固有性と共通性**
—隠れユダヤ教徒、隠れキリシタンの比較を通して—
第９章　マイノリティ性と「隠れ」（クリプト）の構造
第10章　「隠れ」信徒集団をめぐる政治と宗教

聖母マリアは、表面上仏教徒を装うため観音像に仕立てあげられた

130度以上の水蒸気が噴出する雲仙の熱湯地獄における「地獄責め」で多くのキリシタンが身を投じて殉教した

天草の崎津天主堂

キリシタンの迫害・殉教図。幕府はキリシタンを拷問、強制改宗に屈しなかった者は処刑された。

濱田　信夫（はまだ　のぶお）
長崎県生まれ。大阪府立北野高校、神戸大学経営学部を経て、1970年川崎製鉄㈱入社。2004年法政大学大学院社会科学研究科博士後期課程修了。博士（経営学）。同年九州ルーテル学院大学人文学部教授。現在同大学名誉教授。

支配権力による同化政策に
二つの宗教的マイノリティはどう向き合ったのか

１２月中旬　新刊搬入予定です　　**配本部数申込締切は　１２月７日（水）　です**

ＦＡＸ　０３－３８１３－４６１５

	発行　芙蓉書房出版	注文数	注文者
	迫害された宗教的マイノリティの歴史		
	１２月新刊　本体 2,400円	部	

芙蓉書房出版
〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615